

# ProMED-mail 情報 2019年 6月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
27日	鳥インフルエンザH5N1 (家禽) ネパール	25日、農業畜産開発省畜産サービス局は、11日よりバクマティ県バクタブル地区で5,496羽感染、うち1,535羽発症死亡したため、3,961羽を処分し、22日に対応終了と発表。5月には、バクタブル地区でのH5N1のヒト感染確定の死亡1例を公表。
26日	アフリカ豚コレラ (ASF) ベトナム	25日、政府は養豚数の10%近くを処分したと発表。以前の流行は小規模の家内養豚場だったが、現在は、ホーチミン市近くのドンナイ省近くの大規模養豚場でも流行し始め、国の63州の60の農場に広がった。
26日	腸チフス パキスタン	25日、保健当局は、カラチで12歳と9歳の少女が薬剤多剤耐性の腸チフス感染で死亡したことから、カラチにてワクチン集団接種を検討している。18日以降、122人の感染が報告された。
26日	コレラ イエメン	24日、フーシ派保健省は、2019年以降イエメンで686人がコレラ感染で死亡したと報じた。WHOは、2018年1月1日から2019年6月9日までに759,464人の感染疑いと1,163人の感染死亡を報じた。2015年に戦争が始まって以来、2019年は3度目の大流行。
26日	麻疹 米国	2019年1月1日から6月20日までに、28州で1,077人の感染者が確認され、1992年以降で最大の記録となった。CDCによると、直近の週の33人の感染者のうち3人以外はニューヨーク州で発症し、うち20人がロックランド郡、10人がニューヨーク市で発症した。
23日	急性脳炎 インド	ビデオレポートは、ビハール州で、脳炎により142人以上の子供が死亡したと報告。うち、ムザッファルプル地区で117人が死亡。州保健当局は、州内の脳炎患者数は600人を超えたと報告。貧困階層の子供たちの低医療、毒ライチ消費、日本脳炎等が原因と考えられている。
21日	ポリオ パキスタン	20日、3人の感染が確認され、2019年の感染者は27人に達した。3人はすべてカイバル・パクトゥンワ州の患者で、21歳女性（ワクチン歴なし）、生後10か月男児（ワクチン歴なし）、生後15か月男児。
19日	麻疹 コンゴ民主共和国	国連の保健当局は過去2週間で7,500人の疑い例を報告、2019年初めからの患者数は106,870人と報告した。うち死者数は1,815人(致死率1.7%)。生後12か月から59か月の子供が患者の77%、関連死の90%を占める。
19日	サルモネラ感染症 英国	英国は、地中海東部と中東を訪れるクルーズ船に関連した乗客の感染例を報告。2019年の24人の感染者の年齢は40歳から84歳で中央値は64歳。欧州疾病予防管理センターは、異なるクルーズ船が同じ会社による運営かは不明だが、同じ汚染製品が異なる会社に配給された可能性があるとの報告。
19日	乳児ボツリヌス症 韓国	韓国疾病予防管理センターは、6月上旬にチョンジュで4か月乳児が罹患した、本年最初の症例と発表した。本疾患は、1歳以下の乳児に起こる神経系の疾患で、ボツリヌス菌の胞子を摂取し、腸内で増殖し発生した毒素で発症する。
15日	マラリア (輸入例) トリニダード・トバゴ	保健大臣は、2019年に17人のマラリア患者が発生したと発表。内訳はベネズエラ人が13人、他の4人は、トリニバゴニア（トリニダード・トバゴ）、ウガンダ、ガーナ、ガイアナから。マラリアは、過去数年間、ベネズエラで急増しており、近隣の国で脅威となっている。
5日	日本脳炎 台湾	保健当局は2人の患者を報告し、2019年4人の確定例。嘉義市の50歳男性と高雄市の50歳女性で、それぞれ5月21日と23日に熱発し集中治療室に入院中。海外渡航歴なし。媒介蚊減少のため、サーベイと環境整備と住民広報も強化。